

タケダ・ウェルビーイング・プログラム 2010 助成の概要と推薦理由

助成番号 10-1-2

プロジェクト名 子どものホスピス ボランティア・リーダーの育成・研修
団体名 特定非営利活動法人 生きるちから VIVACE
代表者名 甲斐 裕美
所在地 千葉県
助成額 100万円
助成期間 2010年10月1日～2011年9月30日
設立年 1997年
URL <https://vivace.hateblo.jp/>



入院児とその家族は制約の多い療養生活で精神的にも肉体的にも疲労が蓄積され、長期になればなるほどその状況は深刻になる。このような生活の中で、長時間付き添う親のレスパイト施設の必要性は高く、一方で入院児にとっても、家族と一緒に時間を過ごせる時間と場所が求められている。長期の療養で疲れた心身を癒し、また新たに病気に向かうための場所としても期待されている。

本団体は、緩和ケアやホスピスに関わる医療関係者や遺族などの協力を得て、全国の小中学校で「いのちの授業」等を通じて、子どもたちにより良く生きようとする力を与えることを目指してきた。また現在は神奈川県大磯に開設予定のこどもホスピス「海に見える森」のサポートもしている。

今回の助成では、今後求められるこどものホスピスのボランティアのために、ボランティア・リーダーの育成に取り組む。地域との連携を重視して多くのボランティア（サポーター）の協力を得ているオーストラリアの小児ホスピスの視察を行い、その報告を通じて、国内で同様の活動を展開しようとしている他の施設・団体や関心のある人々に向けて情報を発信する。さらに「子どものホスピスサポーター研究会（仮称）」として、日本各地で関わる人々の情報共有のためのネットワークの立ち上げに取り組む。

日本でもこどものホスピスやレスパイト施設の立ち上げ計画が各地で始まりつつあるが、今後、一層の議論の深まりが求められている。関係者が情報と経験を共有し、議論を深める場となることを期待して助成する。